

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-

実施日: 2024年 1月 11日

	回答	コメント
環境整備・体制整備		
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○	法令基準に基づいている
2 職員の配置数は適切であるか	○	厚生労働省のガイドラインの内容に沿って配置している。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	△	建物にエレベーター、スロープは設置されている。現状は問題ないが、トイレ前に段差がある。
業務内容		
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	個別支援計画を作成し、それに沿って支援を進めている。3~6か月に一度、見直しをして保護者様と更新内容を相談している。毎月、生徒ごとに振り返りを作成し、各ご家庭にお渡ししている。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	○	ガイドラインに沿ったアンケートの他、弊社独自のアンケートも実施。回答内容について職員間で話し合い、業務改善に繋げている。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	毎年公開している
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	現状行っていない。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○	定期的に教室勉強会、弊社主催の集合研修など、研修や勉強会を行っている。
適切な支援の提供		
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	日々の記録や本人・保護者からの情報をもとに個別支援計画を作成。その際、教室職員全員参加でのケース会議も実施。その後、保護者面談にて保護者の方に納めさせていただいた上で更新している。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	利用者に応じて行っている。ツールだけでなく日々の活動からアセスメントを計っている
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	毎月、週間テーマに沿ったプログラムを、教室職員が1人につき2~3件提案している。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	週間テーマが毎週違うため、固定化されないようシステム化されている。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	平日、休日等に応じて個別支援計画をそれぞれ作成しているわけではないが、活動内容や時間が異なる分、対応や支援の狙いを調整して支援している。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	個別活動、集団活動、どちらも利用者の課題に応じて行っている。
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	朝礼を毎日実施。その時に確認、共有を行っている。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○	終礼を毎日実施。その時に確認、共有を行っている。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	日々の支援日誌を必ず記録している。支援計画作成、月次短信作成の際など確認している。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	個別支援計画更新時にモニタリングを行っている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	集団活動は、運動、座って行う活動、工作など日々違う活動を行うことでバランスを保つようしている。
20 障害児相談支援事業所のサービ担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	そのようにしている。利用者によっては複数参加することもある。
21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生連絡)を適切に行っているか	○	学校への見学、関係者会議、電話などで共有等行っている。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	現在該当なし。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	状況により難しい場合もあるが、連携できる体制は整えてある。地域の保育所や幼稚園等へのご挨拶はしている。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○	現状機会は少ないが情報提供できる用意はしている。
25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	必要に応じてご協力いただいている
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	施設外となるとあまり現状はない。お出かけイベントの際など、公園の利用者と関わることはある。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	毎月、協議会における主要事業所での集まりに参加。2か月に1回、川越市の放デイ対象協議会に参加。
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	ご利用日には帰所の際に、教室の様子などをフィードバックしている。保護者からもご家庭の様子などを教えてもらっている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○	必要に応じてお伝えしている。
保護者への説明責任等		
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時にお伝えしている。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	個別支援計画の更新時だけでなく、毎年12~3月で新年度に向けた保護者面談を行っている。その他、相談を受けた際などに対応を行っている。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	△	保護者勉強会を開催している。今後、定期開催予定。また、保護者招待のイベントも随時実施している。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	苦情相談窓口を設置し、契約時にお伝え、普段から教室内にポスターを貼ってある。
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月、通信にて前月の活動内容やお知らせやその月の週間テーマ予定などを記載しお渡ししている。
35 個人情報に十分注意しているか	○	個人情報が記載されているものは必ず鍵付きのキャビネットにて保管するなど徹底している。
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	本人の特性や様子などに応じて、筆談など用いている。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	△	保護者勉強会に他事業所の指導員や地域の学校職員を招待予定。市内の塾など福祉施設以外とも連携を図っている。
非常時等の対応		
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	○	全てのマニュアルの作成がされている。勉強会を行い、職員に周知している。契約時に緊急時の避難経路などをお伝えしている。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年に2回、週間で避難訓練を実施している。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	○	年に1~2回程、勉強会を行っている。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体拘束を行う可能性がある場合には、事前に保護者の許可を取り、誓約書に署名と押印をしていただき、個別支援計画備考欄に記載することとなっている。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	保護者から申告していただいております。確認の上、食品提供を行っている。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	作成、共有している。